



## 校長室だより 足立区立第九中学校

第5号 令和2年5月20日発行 佐藤 豊



新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度4月30日（木）に予定しておりました離任式は中止いたしました。本来であればご退職・離任された教職員の皆様方から、直接みなさんへお別れのご挨拶をしていただく大切な儀式なのですが、大変残念なことです。

そこで、私から第19代校長（前校長）の長塚琢磨先生に生徒へのメッセージの寄稿をお願いいたしました。大変お忙しい中、長塚琢磨先生より、早速お別れのご挨拶をいただくことができましたので、ここでご紹介いたします。

### 離任式の言葉に替えた「第九中学校の生徒へのメッセージ」

「ありがとう!」、みなさんに出会えたことに、心から感謝しています。共に本気になって取り組んだこと、共に汗し、喜んだり悲しんだりしたこと、共に感動し涙を流したことなどは、私を人間として大きく成長させてくれたと考えています。

私は、まだまだ若いと思っていましたが、既に退職の年齢になっていることに大変驚いています。第九中学校のみなさんは、私にとって最後の生徒になります。

第九中学校で出会えた、「素敵な挨拶や礼儀・マナー」、「本気で取り組み絶えず努力する熱いハート」などは、未来を担う人間としても、無限の可能性を実現する者としても、最も大切な資質・能力であると感じました。これからも、新しい出会いや、「磨き」「挑み」「思いやる」を大切にできる素敵なみなさんでいてほしいと思います。

また、みなさんは、保護者や教職員、地域の方々に愛され、見守られ、支えられている、とても幸せな生徒であることも忘れないでほしいと考えています。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、保護者や地域の皆様に御挨拶ができませんでしたが、私の感謝の気持ちを伝えてくれると大変助かります。

我が心のふるさ「足立区立第九中学校」がさらに進化・発展すること、みなさんが素敵に学校生活を送り、輝かしい未来を切り拓くことを心から祈っています。

第19代校長（前校長） 長塚 琢磨

### 「新入生を迎える会」の様子



足立区立第九中学校第74回入学式は、新型コロナウイルスの感染防止のために卒業式と同じに校庭で実施することになり準備をしていました。しかし、緊急事態宣言の発令を受け中学校の入学式は延期となり、さらに緊急事態宣言が延長されたことで、今年度の入学式は本当に残念なことです。中止となりました。そこで、第九中学校では、令和2年度の入学式に替えて「新入生を迎える会」を実施しました。三密を避けるため、「新入生を迎える会」は、男子6回、女子6回ずつに分散して実施することにいたしました。「新入生を迎える会」は、校長のあいさつと、副校長、担任紹介だけでしたが、新入生に直接「入学おめでとうございます」の言葉を伝えることができました。

第九中学校の令和2年度を新入生と一緒にスタートさせることができた思いがいたしました。



## 「文武両道」・・・今こそ力を蓄える時！

部活動に熱心な学校として第九中学校を選択し、入学してきている生徒もたくさんいると思います。今年度は皆さんもご存知のように、新型コロナウイルス感染拡大防止のために全国大会や関東大会、吹奏楽コンクール、足立区の様々な連合行事などが次々と中止になりました。これも三密を避け、皆さんが新型コロナウイルスに感染しないため、命を守るために決定されたことです。第九中学校のみなさんが今まで自分たちの目標のために頑張ってきたがんばりを考えると本当に残念でしかたがありません。また、日本全国の学生が涙を流していると考えれば、心が痛くなります。部活動ができずにイライラしている人もいるかもしれませんが、今こそ力を蓄える時です。足立区の名門校に通う生徒としての自覚をもち、学習面や体力向上においても努力してください。6月再開を視野に入れながら、生活のリズムを見直し、登校に備えましょう。

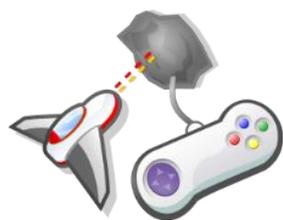
## 二宮金次郎から学ぶこと・・・目標をもって取り組むことの大切さ



金次郎は、小さいころから勉強熱心で、両親の仕事を手伝いながら、時間を見つけては一人で一生けん命勉強をしたそうです。第九中学校にある像も、まきを拾いに行った帰りに、本を読みながら勉強している金次郎をあらわしているのだそうです。私が一番興味をもったのは、「積小為大」という考え方です。金次郎は使われなくなった用水堀のわきの荒れ地に稲の苗を植えました。そしてそこから一俵の米を収穫したのです。たった一俵の米でしたが、当時は荒れ地を開墾した田からとれた米には年貢がかからなくてすんだのだそうです。つまり、とれた米全部が金次郎の米になったのです。そして金次郎は、その年から荒れ地の開墾を続け、自分の畑を増やしていったのです。金次郎は、いつもこの荒れ地を開墾することで、「秋に米を収穫することができる。そして自分の畑にするんだ。」という目標をもち続けることができたのだと思います。始まりがたとえ小さなことでも、目標をもって取り組むことで、自分にとって大きなことを成しとげることができる。そんな考え方が第九中学校の伝統にも根付いているのだと思います。



## 休校中に生活のリズムを崩さないようにご注意ください (4/23 産経新聞記事引用)



新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために休校が長引いています。生徒たちのゲームやインターネットへの依存が懸念されています。校長室だより第2号でもお願いいたしましたが、ご家庭でのインターネットやスマホ利用のルールを決め、ネットやゲームの依存状態にならないようにご注意ください。

依存症の治療に長年携わってきた神戸大学医学部附属病院精神科神経科診療科長の曾良一郎教授は、「依存状態になったら、親による制限はほぼ不可能」であり、専門医への相談を勧めています。また、「今は夏休みと同じ状況なので、ゲームやインターネット依存を深めている中高生が多いのではないか」と懸念されています。

